

乾物収量多収な晩成ソルガム「緑立」の特性

畜産試験場

ソルガムは、多様な草種であり、品種によって特性が大きく異なる。温暖な大分県では、多刈りできる多収な草種であり、作付面積も多い。

そこで、市販品種のうち有望度の高い品種について本県における諸特性を明らかにし、新たに「緑立」を奨励品種に選定したので紹介する。

【普及したい技術のポイント】

- ①乾物収量が多く、多収な晩生ソルガム「スーパーシュガーソルゴ（以下、SS）」と同程度の乾物収量が得られる。
- ②乾物率がSSと比較して5%程度高く、ダイレクトでのサイレージ調製がしやすい。
- ③暖地で多発する紫斑点病抵抗性がある。

【ソルゴ型ソルガムの特性】

ソルガムの中でも多収であり、長桿な草種である。乳熟期～糊熟期に収穫すると最も多収で、栄養価も高い。散播密植栽培することで、ロールペーラで調製できる。

【緑立の特性】

- ①乾物収量が多く、SSと同程度の収量が得られる。
- ②乾物率が高く、サイレージ調製がしやすく、長期保存しても良好な品質である。
- ③暖地で多発する紫斑点病抵抗性がある。
- ④繊維の割合が多く、SSと比較して、ADF、NDFが高い。
- ⑤出穂が遅いので、平均気温15℃以内でできるだけ早播きするとよい。

	緑立	SS
粗蛋白質	7.0	6.7
粗脂肪	1.6	1.5
NFE	48.4	52.8
粗繊維	36.6	31.7
粗灰分	6.4	7.4
ADF	43.4	38.1
NDF	66.8	60.0

表2 緑立の飼料成分

注1) H20畜産試験場データ

2) 試料は生草単位は乾物中%

	緑立	SS
発芽良否	8	8 3年間平均
初期生育	8	7 3年間平均
出穂日数(日)	73	77 3年間平均、1番草
桿長(cm)	277	254 H16、2番草除く
桿径(mm)	13	12 3年間平均
紫斑点病	2	5 3年間平均
倒伏(%)	5	1 H16、2番草除く
乾物率(%)	24	19 H16、2番草除く
生草重(kg/a)	1256	1483 H16除く
乾物重(kg/a)	288	276 H16除く

表1 緑立の生育特性

注1) H16、H17、H20の平均

2) 発芽良否、初期生育は1(不良)～9(極不良)

3) 紫斑点病は1(無)～9(甚)

水分	79.3	原物中%
pH	3.63	
VBN/TN	7.82	原物中%
乳酸	2.455	原物中%
酢酸	0.558	原物中%
プロピオン酸	0	原物中%
酪酸	0	原物中%
V-score	91.6	

表3 細断型ロールペーラで調製したサイレージの長期保存後の品質

注1) 調製日H19.10.3 開封日H20.11.27